

医師を目指す学生のための情報誌

因伯兔

いんぱくと

発行月：2022年 6月

厚生労働省指定臨床研修病院

鳥取生協病院

鳥取医療生活協同組合

ホームページ



発行元：鳥取県民主医療機関連合会
☎0857-29-3598 ✉tottori@min-iren.gr.jp

物価高騰の打撃

新聞に掲載

新型コロナウイルス感染症拡大の影響に加え、原油価格の高騰や円安、ロシアのウクライナ侵攻などに伴う物価高騰が国民生活を直撃しています。新聞記者が、「これまでぎりぎりの生活を送ってきた年金生活者や若い世代の人たちは物価高騰のあおりを受け窮地に追い込まれている」とし、現場の取材に來られました。鳥取県民主医療機関連合会は不定期に食料無料支援を展開。3月もコメ2^{kg}やカレー、即席ラーメンなどを市内の困窮者に配っています。『生活必需品の値上げは低所得者ほど負担が大きい。とにかく生活に困ったら孤立せず声を上げてほしい』と呼びかけました。



コロナ禍における学生の生活応援

鳥取民医連奨学生対象、コロナ禍における学生の生活応援企画です。コロナ禍で、金銭面・学習環境等生活全般においても影響を受けながら頑張っている学生を、物質的・精神的に応援しています。2020年12月から始まり、2022年4月で6回目を迎えました。今後も学生の応援をしていきます。



地球温暖化・気候危機について、鳥取生協病院の取り組み



【廃棄物のリサイクルや再生可能エネルギー事業】

☞ エコ会社を選んで契約をし、業者と提携して行っています。

【石油・石炭等の化石燃料や原子力に代替しうる代替エネルギーについての取り組み】

- ☞ コージェネレーションシステムを利用。発電しながら無駄なく熱の再利用を行っています。
- ☞ ディーゼルエンジン等から出た燃料を駆動機を通して熱エネルギーに変え、湯を沸かし、病棟や院内で利用しています。

【地球温暖化についての取り組み】

☞ 照明のLEDを検討中です。今の生協病院建設時はまだLEDが出たばかりでした。現在は省エネタイプを使用中です。業者に見積もりをとるなど動いています。

消防訓練

鳥取生協病院では、病院全体の消防訓練を含め、各部署ごとの消防訓練も全職員が行っています。各部署ごとに設置場の違う火災報知機、避難誘導方法、消火器・消火用散水栓設置の場所の確認と取り扱いについて訓練します。火災を予防・人命の安全・被害の軽減を目的に防災教育・訓練に取り組んでいます。



ハウジングファースト



組合員住宅さくらのこと

組合員住宅さくらは米子医療生協最初の入居施設です。2007年に米子診療所を新築移転した際、以前の診療所を改装し、12部屋の組合員向け住宅施設として開設されました。開設から1年後の2008年の年末、リーマン・ショックの影響で失業者が増加。仕事を失うと同時に住まいを失ってしまった方のために、ボランティア団体や労働組合が年越し派遣村を日比谷公園に開設しました。派遣村では炊き出しや生活相談、生活保護申請の案内や年明けにハローワークが業務開始するまでの簡易宿泊所を設置するなどの支援が行われました。2009年に入ると鳥取県西部でも同様の相談が寄せられるようになりました。米子医療生協は、さくら住宅の1室を緊急用に1日単位で貸し出すことを決めました。その頃からさくら住宅は組合員住宅施設であると同時に緊急低額宿泊施設としての役割を持つようになりました。開設から15年が経過した現在も臨時的な入居の相談は少なくありません。医療生協の目指す地域包括ケアは「医・福・食・住の事業を通じ安心して暮らし続けられる地域をつくること、誰1人取り残さず人々の暮らしと制度の拡充を求めつつ協同の力で支えること」です。

支援、行政が「家に住むこと」についてその可否を「判定」し「許可」「決定」する

住まいは人権である
家は無条件で提供する
本人が「決定」する
支援者は生活の支援を提供する